

JLPT 通信

日本で暮らすJLPT受験経験者
3人に、日本の言葉や文化、JLPT
について語ってもらいました。

2014



わきつき しこうあん
撮影場所：和喫茶 紫光庵

他人を思う気持ち
感じられる
とてもいい言葉だと思います。

日本でよく聞く言葉は「すみません」と「ありがとう」。

日本を知る きっかけ

ヴォン・チィ・グエツト
(以下「ヴォ」)：私が日本に興味を持ったきっかけは、17歳の時に、ベトナムに旅行に来ていた日本人の女性と友達になったことでした。手紙のやり取りをしましたが、彼女の言葉をもっと理解したいと思って日本語を学び始めたんです。今でも彼女は私の良い友人です。
シュウ・エンセン
(以下「シュ」)：良い話ですね。中国では早くから日本の文化が入ってきていて、親の世代では山口百恵のドラマがはやっていました。今でも夢中になって、それから日本のことをもっと知りたと思うようになりました。今日この後は「モーニング娘。」のコンサートに行く予定です。
アンナ・シマウエック
(以下「ア」)：私は、友達が日本のポップカルチャーを教えてくださいました。それがきっかけです。アニメの『銀魂(ぎんたま)』が好きで、よく見ていました。

ざだんかい
座談会参加メンバー



しこうあん かんぽんおこ
紫光庵の看板猫 みーちゃん

ベトナム



ヴォン・チィ・グエツト(28)
ハノイ出身。2010年に来日。現在は専門学校で働いている。休日の楽しみは、家でのんびり日本のドラマを見ること。

中国



シュウ・エンセン(27)
広東省出身。2008年の大学院留学以来日本で生活し、現在は東京都内にある商社で働いている。J-POPが大好き。

ポーランド



アンナ・シマウエック(23)
クラブ出身。日本文化について研究し、2013年10月から東京都内の大学に留学中。将来の夢は日本の歌舞伎(かぶき)を世界に紹介すること。

JLPTを受けて 役に立ったこと

ヴォ：私は中国の大学で日本語を学んでいたんですが、JLPTの1級(当時)取得は卒業に欠かせない条件でした。試験勉強が一番難しいと感じたのは聴解の問題です。文法だけでなく、日常会話に近い問題が多かったです。当時は日本語で会話をする機会が少なかったんです。日本のドラマなどを見て、日本の生活や文化などを理解しながら勉強していました。
ヴォ：私は漢字が苦手だったので、試験の練習問題を何度も解きました。また、ネットで日本語のニュースを読んだり日本語の本を

言葉から見えて くる日本の文化

ヴォ：日本に来て驚いたのは、「すみません」と「ありがとう」という言葉をよく耳にすることです。この2つの言葉はベトナムではほとんど使わないと使いません。日本では、親が子供に使うこともあります。
シュ：中国でもまず使いますね。



来てみてわかった 日本の良いところ

ヴォ：日本は、漢字に触れる機会を増やすようにしていましたね。
ア：私も漢字が一番苦手だったので、自分で単語帳を作って毎日勉強していました。漢字とその読み方、また、その漢字を使う単語も含めて作ったので、2000語以上は作って覚えました。
ヴォ、**シュ**：2000語も作ったんですか！
ア：あの時頑張っておいてよかったです。JLPTに合格したこと、もあって、今の第一志望の大学に入学できたんだと思います。
シュ：進学だけでなく、日本で就職活動をしている時も、私が持っているJLPTのレベルについて聞かれました。就職する場合もJLPTは大事です。
ヴォ：ベトナムで就職する場合でもJLPTの認定を持っていると、その分お給料の加算がある企業が多かったですよ。母国で就職する際にも役に立ちます。
シュ：それと、試験で学んだことは、今の日本の生活でもとても役に立っていますね。
ヴォ：それは私も感じます。N2で勉強した文法などは普通の日常生活でもよく使われているので、会社の人と話している「あ、これはN2の問題でそのまま出た！」と思うことがよくあります。



ア：言葉だけでなく、自分のことよりも周りのことを考える態度がとても重視されていると感じます。ぎゅうぎゅうの満員電車の中でも、誰からも文句が出ないことに驚きました。
ヴォ：私も前は満員電車によく乗っていましたが、駅員さんは乗客をいつも押し込んでいますね(笑)
ア：よくありますよ。
シュ：中国では、電車の中でも椅子を食べたりしています。日本にはルールが多くて、最初はそれを覚えるのに苦労しました。でもそのルールを守ると人にめいわくをかけるから、他人からもめいわくをかけるから、快適に暮らせるんですよ。
ア：私も全く同じ意見です。ルールがあった方が暮らしやすいです。



来てみてわかった 日本の良いところ

ヴォ：日本は、漢字に触れる機会を増やすようにしていましたね。
ア：私も漢字が一番苦手だったので、自分で単語帳を作って毎日勉強していました。漢字とその読み方、また、その漢字を使う単語も含めて作ったので、2000語以上は作って覚えました。
ヴォ、**シュ**：2000語も作ったんですか！
ア：あの時頑張っておいてよかったです。JLPTに合格したこと、もあって、今の第一志望の大学に入学できたんだと思います。
シュ：進学だけでなく、日本で就職活動をしている時も、私が持っているJLPTのレベルについて聞かれました。就職する場合もJLPTは大事です。
ヴォ：ベトナムで就職する場合でもJLPTの認定を持っていると、その分お給料の加算がある企業が多かったですよ。母国で就職する際にも役に立ちます。
シュ：それと、試験で学んだことは、今の日本の生活でもとても役に立っていますね。
ヴォ：それは私も感じます。N2で勉強した文法などは普通の日常生活でもよく使われているので、会社の人と話している「あ、これはN2の問題でそのまま出た！」と思うことがよくあります。



日本語能力試験
JLPT Japanese-Language Proficiency Test

2014年試験日 7月6日(日) 12月7日(日)

日本語能力試験は、原則として日本語を母語としない人を対象に、日本語能力を測定し、認定するための試験です。実力の測定だけでなく、進学、就職、昇給、昇進、資格認定への活用等、さまざまな目的で活用されています。日本国内では日本国際教育支援協会が、海外では国際交流基金が各地の実施機関の協力を得て開催しており、台湾では公益財団法人交流協会との共催で実施しています。

※どちらか片方のみ実施する都市もあります。詳細は各都市の実施機関にお問い合わせ下さい。



公式ウェブサイトでは試験実施都市一覧や問題例を公開中! → <http://www.jlpt.jp/>